*PRESS RELEASE*

2014 年 11 月 4 日

報道関係各位

株式会社セキュアブレイン

# 荘内銀行が、セキュアブレインの MITB 攻撃対策を搭載した 金融機関向け不正送金・フィッシング対策ソリューション「PhishWall プレミアム」を採用

株式会社セキュアブレイン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長　兼　CEO：成田　明彦、以下「セキュアブレイン」）は、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、代表取締役頭取　國井　英夫、以下「荘内銀行」）が、同行のインターネット・バンキングやホームページを利用する顧客を不正送金やフィッシングの被害から守る対策として、MITB（マン・イン・ザ・ブラウザ）攻撃対策を搭載したセキュアブレインの金融機関向け不正送金・フィッシング対策ソリューション「PhishWall（フィッシュウォール）プレミアム」を採用し、本日よりサービスを開始することを発表します。

インターネット・バンキングを利用するユーザのPCにウイルスを感染させ、PCを乗っ取ることで、振込時に必要な情報を盗み、その情報を元に不正に現金を引き出すという手口での被害が拡大しています。警察庁の発表によると2013年にインターネット・バンキングにおける不正送金の被害額は14億円にのぼり、今年は6月の段階で、すでに前年を上回る18億円の被害が発生しています。これらの攻撃は、MITB（マン・イン・ザ・ブラウザ）攻撃と呼ばれており、PCに感染したウイルスが、インターネット・バンキングサイトへアクセスした際に通信をハッキングし、偽画面等を表示します。各金融機関は、顧客に対して注意喚起を行っていますが、偽画面等は、正規のサイト上で表示されるため、顧客が偽物と見抜くことが難しく、注意喚起以外の具体策が急務となっています。

「PhishWallプレミアム」は、不正送金やフィッシングの被害を未然に防ぐためのソリューションです。顧客に無料配布される「PhishWallクライアント」と金融機関側で設定する「PhishWallサーバ」との間で認証情報をやり取りすることで、顧客のPC側から、アクセスした企業のWebサイトが真正なサイトであることを証明します。真正な場合、顧客のPCのブラウザに緑のシグナルが点灯し、ひと目でそのWebサイトが本物であることが確認できます。また、顧客が「PhishWallプレミアム」導入企業のWebサイトをブラウザでアクセスするタイミングで、顧客のPCがMITB攻撃型ウイルスに感染していないかをチェックします。感染の徴候を発見した場合は、赤のシグナルと、警告メッセージを表示し、不正な画面への入力を防ぎます。

「PhishWallプレミアム」は、MITB攻撃特有の「ふるまい」をチェックして検知するので、同様の「ふるまい」をする未知のMITB攻撃型ウイルスも検知が可能です。またウイルスを無効化する機能が搭載されています。顧客のPCがMITB攻撃型ウイルスに感染している場合でもウイルスを無効化することで、情報を詐取される危険な状態を回避することができます。

荘内銀行は2009年より顧客が安心して同行のWebサイトを利用できる環境を提供すべく「PhishWall」を導入しており、さらにMITB攻撃対策を取り入れるため、「PhishWallプレミアム」の採用を決定しました。なお、すでに「PhishWall」を導入済の企業は、セキュアブレイン側の設定を変更するだけで、「PhishWallプレミアム」にアップグレードすることが可能です。

セキュアブレインは、安全性向上のためのソリューション提供を積極的に推進し、「PhishWall プレミアム」を金融機関向け不正送金・フィッシング対策の標準ソリューションにしたいと考えております。

以上

**セキュアブレインについて：**

株式会社セキュアブレインは、インターネット上の脅威が多様化する中、Web サービスを提供する事業者や企業に IT セキュリティを届ける、サイバーセキュリティ専門会社です。「ネット犯罪からすべての人を守る」というミッションのもと、信頼性の高いセキュリティ情報と高品質なセキュリティ製品・サービスを提供する、日本発のセキュリティの専門企業です。詳細は、http://www.securebrain.co.jp をご覧ください。

**◆ 本件に関する報道関係者さまからのお問い合わせ先 ◆**

株式会社セキュアブレイン 広報担当：丸山 芳生（まるやま よしお）
e-mail：info@securebrain.co.jp 電話：03-3234-3001、FAX：03-3234-3002
〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-6-7 麹町 RK ビル 4F